

1頁 地域包括ケアシステム構築の課題学習会

2頁 地域の動き
職域退職者会の動き

ナジラーネ

改題 高齢協「会報」

発行

〒950-0965

連合新潟高齢者協議会

新潟市中央区新光町6-2

TEL 025-281-5454

FAX 025-281-5456

地域包括ケアシステム構築の課題とは

齋藤忠雄医師を招いて学習会開催

5月12日、ガレソホールで学習会「地域包括ケアシステム構築の課題」を開催しました。各職域退職者会をはじめ地域高齢協から60名が集まり開催されました。

講師の齋藤忠雄先生（齋藤内科クリニック）から、地域包括ケアシステムの重要な課題である「在宅医療」の視点から同システムを切り込んでいただきました。やはり地域の医師の協力なしではシステムは構築されないようです。

齋藤先生は、居宅介護支援事業所るびなすを運営している中で起きている事柄を実践例にして、地域包括ケアシステムにおける居宅介護支援事業の重要性を訴えました。

認知症の高齢者やひとり暮らしの高齢者が、出来る限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう、小規模で地域に展開する『地域密着サービス』が必要との認識も示しました。

齋藤先生との意見交換の場も持たれ、在宅医療は



ケアシステムで在宅医療はどうあるべきか

制度として本当に確立できるのか、医師がどれだけ参画してくれるのか、等々質問も出され地域包括ケアシステム確立の課題も見えてきました。また、在宅医療に熱心に取り組んでいる医師も多くいることも理解できました。

高齢協第13回定期総会

- 期日 7月21日(火) 午後1時より
会場 新潟駅前・ガレソホール
報告 ①2014年度活動報告
②2014年度決算報告
③2014年度会計監査報告
議題 ①第1号議案 2015年運動方針案
②第2号議案 2015年予算案
③第3号議案 2015年度役員案

各職域退職者会及び地域高齢協に代議員及び特別代議員数を示してありますので参加の準備をお願いします

低所得高齢単身女性問題

中央退職者連合が学習会

退職者連合は、5月26日(火)、連合会館で低所得高齢単身女性問題学習会を開きました。学習会では、「住む家がない」「年金が少ない」など低所得高齢単身女性が日々の暮らしの中で直面している様々な問題を掘り起こしました。

女性の就労の特徴は勤続年数が短く、こま切れ就労で、女性を就労中断、非正規雇用に追いやる政策が続き、戦後から今に至るまで長く女を生きて貧乏になる、という悲惨な状況を生みだしてきました。

熊崎女性副委員長は、子どもの貧困と高齢者の貧困など社会問題として認識が深まっており、その要

県央地域高齢協 総会

広報・厚生・組織委員会で

5月13日、青少年ホームで第16回総会を開催しました。総会では、広報・厚生・組織の三委員会の活動や県央地協や地区労福協との連携による活動報告がなされました。

活動計画では、「湯の旅」「ふれあい交流会」「確定申告相談会」の自前の活動に加え、県央地協や地区労福協の企画するアジアアフリカ救援米活動などへの参加が提起されました。県央では、広報委員会による会報の発行や確定申告の呼びかけ、厚生委員会による交流会の企画運営などが進められているのが特徴です。

中越地域高齢協 総会

高齢者の目線で運動推進

5月27日、高齢者福祉センターで第16回総会を開催しました。総会には、長岡市長が駆けつけ激励のあいさつを行いました。活動報告では、研修会、高齢協セミナー、市要望、ライフサポートセンターなどの活動が報告されました。

具体的な運動の進め方では、各役員が事業を分担し計画実行していくことを基本とするなど役員会の機能強化を図ることが提起されました。

市要望は介護保険制度だけでなく、医療や福祉など広い分野で要望質問していくとともに「高齢者の目線で焦らずできることから」をモットーに粘り強く運動を進めていくことしました。

十日町地域高齢協 総会

安心信頼生きがいある生涯

5月24日、第15回定期総会が開催されました。十日町地域では、従来から「安心・信頼・生きがいある生涯」テーマにしています。総会に先立ち、高齢協林事務局長を迎え、これからの高齢協運動と題したミニ講演が行われました。これまでの活動に加え、「地域」をキーワードとした運動展開が、連合や地区労福協で進められていることから高齢協としても組織の特徴を生かした取り組みの必要性が語られました。

総会では、健康センターとの連携による「健康年齢の引き伸ばし」などの活動や十日町市主催による原水禁集会への参加などが確認されました。



30人以下学級の実現

新退協 総会

新退協は、5月22日、第43回総会を開催し、運動方針・事業計画等を確認しました。運動方針では、現退一致の取り組みが行われており、特に、「教育は未来を担う人材の育成」との視点で、教育の反動を許さない運動、教職員の定員増、30人以下学級の実現をはじめとして、小中学校の統廃合問題では、退職教員としても、地域住民との対話を重視していくとしました。

事業計画では、会報の発行をはじめ囲碁大会、女性会員交流、活動者交流などの行事が提起され確認されました。

環境・医療・福祉施設の見学

魚沼地域高齢協 総会

5月26日、魚新で第16回総会を開催し、従来から実施してきた環境・医療・福祉施設の見学会と交流を引き続き実施することを確認しました。

活動方針では、研修旅行のほかに基本的な事項として、「健康年齢を伸ばす社会福祉を追求」を掲げ、介護保険制度における各市自治体（小千谷、魚沼、南魚沼）中身の把握と課題の探ると確認しました。

報告では、「石川雲蝶と奥只見の旅」と題した、奥只見ダム電力館、広神ダム、大浦開山堂の見学について有意義な研修旅行を実施したことも報告され、思い出を共有していました。

要請行動・研修会等を行ったら必ず連絡を！

高齢協のホームページ立ち上げましたよ

<http://koureikyou.niigata.jp/>

HPには、各地域や職域の総会はもとより、様々なイベントや催し物を紹介していきたいと思えます。職域退職者会や地域高齢協でイベント等ありましたら、写真と原稿を送付してください。写真は、データに限ります。



1面より

因は日本の経済状況と不平等、格差から生じている、退職者連合はこれらの問題を直視して、政府、政党へと要求活動を行っていきたい」と提起しました。県高齢協としても、この問題のアプローチをどうするか検討に入りたいと思えます。